

クローズアップ マイタウンJOTO



絵本から始まる それぞれの物語

城東区では、「絵本」を通じて、親子のふれあいや親同士のコミュニケーションなどを応援するため、地域の子育てサロンや子育て支援機関と連携し、親子で楽しめるような「絵本で子育て!みんなで子育て!」事業等を行っています。

今回は、子育て世代だけでなく、学校や高齢者向けなどいろいろな世代にわたり図書館や本を通して活動されている方へお話をうかがいました。



▲読み手のキャラクターや声とあった絵本だから臨場感がある
◀本を通じて、子どもたちと触れ合う

学校に愛着のある ボランティア

城東小学校は、子どもたちが図書館に親しみ、読書を楽しむことを通して成長できるように、読書環境の整備に力を入れています。各学校に1人配置された学校図書館補助員を中心に、新しい本の入れ替えや書架の配置替え、掲示の工夫などでイメージチェンジし、昼休みや放課後もできるだけ開館。生まれ変わった図書館には、たくさんのお客さんが訪れるようになりました。

また、補助員とともに重要な役割を果たしているのが、地域のボランティアの存在です。「子どもとふれあいたい」「絵本を読むのが好き」「PTA出身で学校に愛着がある」などの女性たちを中心に図書館ボランティア「おはなしクレヨン」20名が、学校の図書主任と連携しながら活動しています。「本読み班」は、週1回、全学年を対象に読み聞かせを行い、「補修班」は本の修理やブックカバーの取り付けなどで活躍。さらに3年前より年1回、全校集会を活用して「お話し会」が



▲本の修理も子どもたちと一緒に

スタートしました。ブースごとに異なる本が読まれ、好きなブースに移動して聞くスタイルは、子どもたちに大好評です。

本を通して 「子どもを見守っている」幸せ

補助員兼「おはなしクレヨン」代表の南後律子さんに聞くと、最も大変なのは本選びとか。「あ、それ前聞いた」とならないよう、南後さんは府内の図書館を東奔西走。「見て明るい気持ちになる本、小さい頃の読書のきっかけづくりには、ロングセラーより面白いものを選んでいきます」

かれこれ10年近く読み聞かせをしている南後さんは街中で「本のおばちゃん」と声をかけられることも多いそうです。「地域の子どもたちは、たいてい私たちの読み聞かせを聞いています。子どもの成長を見守っているという実感が何よりの幸せ」と南後さん。

城東小学校の左海校長先生は、「先生が本を読んでも、先生と児童は、評価される関係ゆえに児童は緊張してしまいます。地域の方だとリラックスしますし「ぼくらのためにきてくれているんだよ」と子どもたちが「つながり」を感じているのいいですね」

学校の図書館活動を 全力でサポート

こうした学校ごとの図書館活動を、さまざまな場面でバックアップしているのが各区に配置されている学校図書館補助員コーディネーターです。学校図書館に配置されている補助員と連

携しながら図書館用のパソコン導入や蔵書数の基準達成等、多様な業務を通して支援しています。コーディネーターの小瀬古久美さんは

「読み聞かせを聞いている子どもたちの笑顔に出会うと、学校図書館が、絵本に親しみ、さまざまな本と出会える場になればと思います。城東図書館のバックアップや補助員、学校の教員、地域ボランティアの協力のもと、子どもたちの読書環境が整うよう精一杯頑張っていきます。」



▲自転車で区内の図書館を巡回する学校図書館補助員コーディネーター

●城東おはなしの会 集中できる 静かなひとときを

ろうそくの灯りがともるなか、肉声のみでお話を語るストーリーテリング。音や光、情報など刺激にさらされる環境から逃れ、お話の世界を楽しむひとときは、子どもたちの想像力を豊かにします。メンバーは11名。お話を覚えることが「老化防止」にもなると好評です。城東図書館での行事のほか小学校で定期的に「おはなし配達」を行っています。→12ページに城東図書館での行事「水曜おたのしみ会」「春のおはなし会」を掲載しています。



分が返っていきたくらいと思ひ応募した」方などさまざまです。

「地域にかかわっていきたくらいと思ひ始めたが今後も続けていきたい」「自分自身も癒されるので続けていきたい」とおっしゃっていました。

ブックスタート

赤ちゃんや保護者が絵本を通して、楽しい時間を分かちあうことを応援する事業です。大阪市では、平成15年4月生まれの赤ちゃんから始まりました。絵本などが入ったブックスタートパックをお渡しし、絵本の楽しさなどをお話しています。対象は3か月健



診の対象となる赤ちゃんで、対象者には健診と一緒にご案内しています。

●城東絵本の会

絵本を好きになる きっかけになれば

ブックスタート、保育所・幼稚園、子育て支援施設での絵本の読み聞かせや城東図書館での行事「絵本でにつこ



り(^_^)」「えほんのひろば」等、広く活動をされています。

ボランティアをやっていて良かったと思うことは「子どもの笑顔を見たとき。赤ちゃんでも、じっとこっちを見て何か反応してくれると本当にうれしいです。自分たちの活動によって、子どもも保護者も絵本を好きになってもらえたらという気持ちが一番です」子どもたちに楽しんでもらえるよう、日々試行錯誤しながら絵本の魅力を皆さんにお伝えしています。

→12ページに城東図書館での催し物「春のこども会」を掲載しています。

- 学校図書館ボランティアの募集については6ページをご覧ください。
- 城東絵本の会、城東おはなしの会、里の会に興味がある方は、城東図書館 ☎6933-0350 ☎6933-0351へお問い合わせください。

